

International Development Center of Japan IDCJ 国際開発センター

開発コンサルタントを目指す人への新たな提案です

国際開発センターでは、将来、開発コンサルタントとして国際協力に従事することを目指す22~25歳までの方を事務職員として募集する試みを始めました。

開発コンサルタントとしての活躍機会が十分得られるようになるのが28歳頃からである国際協力・国際開発の分野においては、大学の学部を卒業してからプロのコンサルタントになるまでの基本的な道筋が定まっているわけではなく、コンサルタント経験を持たない（この業界への）就職希望者は、誰もが試行錯誤をしつつ、コンサルタント各社に応募しているというのが現状ではないかと推察します。大学卒業後、大学院に在籍し修士号や博士号を取得しつつ専門性を身につける努力をしたとしても、中途採用が主流を占める日本の開発・国際協力の業界では、採用に際してどうしても実務経験の有無が重視されます。英語ができ国際協力分野の大学院で学位を取得したというだけでは、十分な就職の決め手にはならず、現状では、開発コンサルタントとして就職するのも、かなり狭き門と言わざるを得ません。

当センターも、これまで問題意識は持ちつつも、新卒者を採用して開発コンサルタント（当センターでは「研究員」と呼んでいます）として育成するには組織の規模が小さく、結果的に、主として中途採用により経験者を採用することで人材を確保して来た経緯があります。

このような認識に立って業界の状況を見ると、志のある方が開発コンサルタントとして仕事を得るまでの20代（キャリア形成の上で重要な10年間）をどのように過ごしていけばよいかという問題に対するよい方策・方向性が提示されないままに、採用する側も応募する側も、共に成り行き任せの対応を繰り返してきているように思えてなりません。

今回の当センターの事務職員の募集は、当センター自体のこれまでの研究員の採用や育成に対する反省を踏まえた取り組みであるとともに、単に当センターの人材採用という枠にとどまらず、我々が身を置いている業界における人材確保の課題に対する一つの解決手段としての提案の意味を込めたものでもあります。

大学を卒業した段階で、事務職員として援助案件等の受託案件の間接業務全般を経験し、3年経った段階で海外の大学院に留学する。そして、修士等の学位取得後、帰国とともに開発コンサルタント企業への就職を目指す。これであれば、開発コンサルタントとしての

仕事の雰囲気も実務を通じて肌で感じつつ、留学等を通じて専門性を身につけることができ、大学院での勉強に際しても、実務経験に根ざした問題意識に照らして、実のある勉強ができるものと思います。その上、学位を取得した時点で28~30歳というエントリーレベルのコンサルタントとしての適齢に達していることとなります。ベストとは言わないまでも、この業界の採用側・応募側のどちらにとっても、現状の改善がある程度期待出来るものと考えます。

今回募集した事務職員は、期間契約による雇用を前提とした嘱託職員です。

今回の募集で採用された方には、原則3年間の勤務（ただし、雇用契約は1年毎の更新）をお願いすることを予定しております。3年間のうちに、当センターが将来の開発コンサルタントとして身につけていただきたいと考える、理念や執務姿勢、実務スキルを学んでいただくことを想定しています。

3年間の勤務終了後は、当センターからは一切拘束や制約を設けません。ご本人が大学院留学を希望する場合には、研究員全員が留学経験者である強みを活かし、助言や支援も差し上げることができ、また、学位取得後は、開発コンサルタント各社への応募時、ご希望があれば当センターへの応募も受け付けます。多くの方に、次は当センターの研究員としてご応募いただけるようになりたいものです。ただし、これは当センターの研究員としての採用を保証するものではありません。

これは、まだ、試行的な事務職員の募集ではありますが、まずは実施し見直しを行って、将来開発コンサルタントを目指す方々への一つの確実なキャリアパスを提供することができるようにしていきたいと考えております。

第1回目の事務職員の募集は、募集期間を2011年2月15日から3月18日までとし、書類選考を通過した方に、4月中下旬に筆記試験と面接を行うことにより、進めることといたしました。応募・採用状況を見極めつつ、必要に応じて追加募集の実施も検討して行く予定です。多少とも、開発コンサルタントを目指す方々に役立つ就職機会を提供できればよいと思いつつ、このお知らせをさせていただきました。ご関心をお持ちの方は、当センターのホームページも併せてご覧ください。

(一般財団法人国際開発センター 業務部長 寺田幸弘)